事例No.	1772
公表年度	R4
団体の属性	中核市
団体名	東京都八王子市

事例区分	公営企業

タグ	・下水道事業 ・公共施設の集約化等 ・事務の共同実施

事例種類	広域化等

事例内容・タイトル

八王子市単独公共下水道の流域下水道秋川処理区への編入

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【東京都八王子市】
八王子市単独公共下水道の流域下水道秋川処理区への編入

広域化等　下水道事業

東京都八王子市水循環部水再生施設課

取組の概要

接続幹線の築造、雨水ポンプ場の整備を行い、単独下水道北野処理区を流域下水道秋川処理区へ編入した。

◆総事業費　概算95億円（東京都への建設負担金は含まず。）

◆背景

- 平成10年度より、多摩地域の水環境の向上と施設の更新及び維持管理にかかる都民の負担の軽減を目的として、東京都・八王子市・立川市・三鷹市等で「単独処理区の広域化についての勉強会」を実施し、平成13年度実施の「多摩地域の下水道事業のあり方に関する検討会」において、単独処理区は流域編入することが望ましいとの結論が出された。平成15年度から20年度にかけて「多摩川・荒川等流域別下水道整備総合計画（流総計画）」への位置付け等の検討会を行い、平成21年7月に流総計画の改定により、八王子市公共下水道北野処理区の東京都多摩川流域下水道秋川処理区への編入が位置付けられた。

◆具体的内容

- 単独公共下水道北野処理区を流域下水道秋川処理区へ編入し、北野下水処理場の処理機能を都管理の八王子水再生センターに統合する。
- 北野処理区は合流区域を有しており、合流下水の全量を八王子水再生センターに送水できないことから、雨天時合流下水に対応するため、現有施設の一部を活用して「雨水ポンプ場」を整備する。

◆効果

- 高度処理の導入による良好な水環境の創出。
- スケールメリットを生かした施設の更新費及び維持管理費の縮減。
  （施設更新費25,649,000千円/50年　　維持管理費59,000千円/年）
- 連絡管を活用した汚水等の相互融通による、震災時等におけるバックアップ機能の確保。

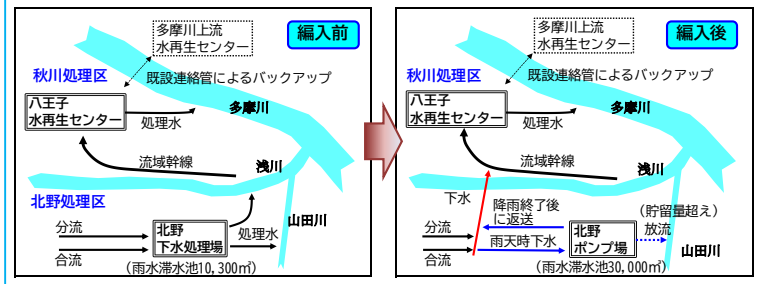
取組のポイント

- 北野処理区は合流・分流に分かれているため、段階的整備を実施することで、平成27年7月に分流区域の編入を実施（八王子市が接続幹線を整備）。
- 令和3年1月に合流区域の編入を実施（八王子市が雨水ポンプ場等、都が水処理施設等を整備）。

公営企業情報

- 行政区域内人口　561,758人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　186km²（令和4年1月1日時点）
- 処理区域人口　557,847人（令和3年度決算）

編入イメージ



取組のスケジュール

- 平成25～平成27年度に接続幹線の築造工事。
- 平成27年7月に分流区域の編入。
- 令和2年度に導水渠の新設、雨水滞水池の増設等の雨水ポンプ場の整備工事着手。
- 令和3年1月に合流区域の編入。雨水ポンプ場の暫定稼働。
- 令和7年度に雨水ポンプ場の整備工事完了予定。雨水ポンプ場の本稼働。

今後の展望

- 旧北野下水処理場の不用地について、隣接する清掃工場、し尿処理施設等を含め、土地活用の方針を検討する。